

『生物多様性に対するオフィスワーカーの意識調査』結果概要について

この度、住友信託銀行株式会社は株式会社住信基礎研究所に委託し、「生物多様性に対するオフィスワーカーの意識調査」を実施いたしました。ここでは、調査結果の概要をお知らせいたします。

1.調査目的

生物多様性保全の問題は、都市部においても重要なものと考えられます。特にオフィスビルに関しては、その敷地や屋上などに在来種による緑地を形成し、シジュウカラなどの野鳥のさえずりやコオロギなどの虫の音も楽しめるような、その地域の人々が古くから親しんできた環境を創出することが、オフィスワーカーや来街者などにとっても良い効果をもたらすことが期待されます。

本調査は、森ビル株式会社、積水ハウス株式会社、および住友信託銀行株式会社に勤務するオフィスワーカーに対して「生物多様性に関するアンケート」を実施することにより、①就業するオフィス及び近隣の自然環境についての満足度、②生物多様性の重要性の認識、③その自然環境の影響や効果、を明らかにすることを目的としています。

2.アンケート調査概要

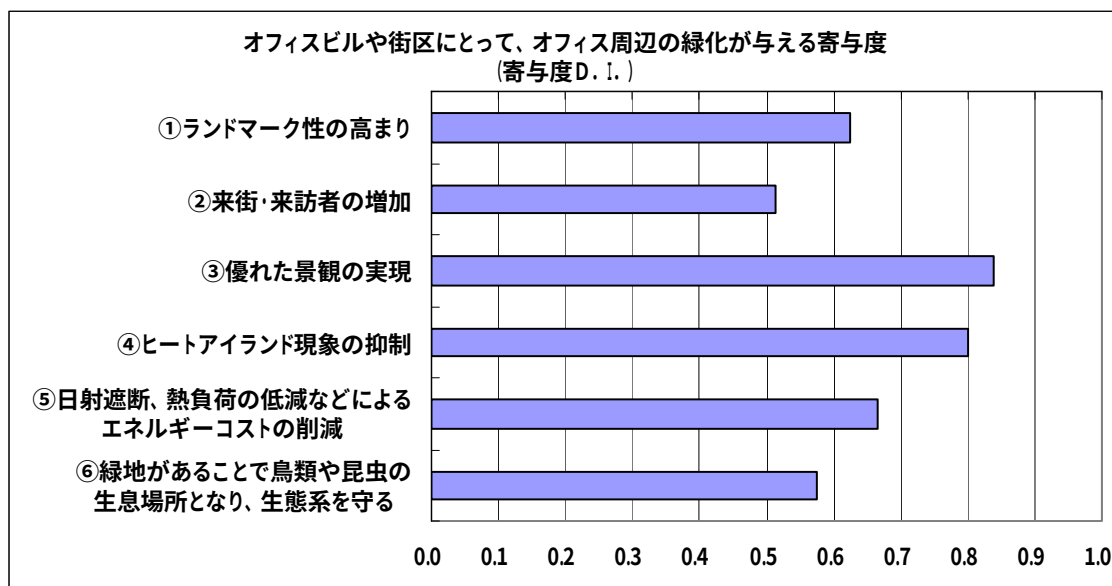
- ・ 調査対象:以下の特徴を有する3つのオフィスビルに入居している企業の従業員
 - ーA ビル:東京都内に所在する緑化に配慮したオフィスビル(緑地面積の割合約 27%)
 - ーB ビル:東京都内に所在する緑化に配慮していないオフィスビル(緑地面積の割合約 5%)
 - ーC ビル:大阪市内に所在する緑化に配慮したオフィスビル(緑地面積の割合約 37%)
- ・ 方法:インターネット及び郵送による配布・回収
- ・ 調査期間:平成 21 年 12 月 14 日(木)～平成 22 年 1 月 15 日(金)
- ・ 回答数:3 社合計で有効回答数 565 件。

3.オフィス周辺の緑化が街区やオフィスワーカーに与える影響

オフィスワーカーにとって、「オフィス周辺の緑化」が街区やオフィスワーカー自身にどのような影響を与えているのかを質問しました。その結果として、寄与度 DI を算出しました。寄与度 DI とは、以下の式により算出される数値のことを言います。

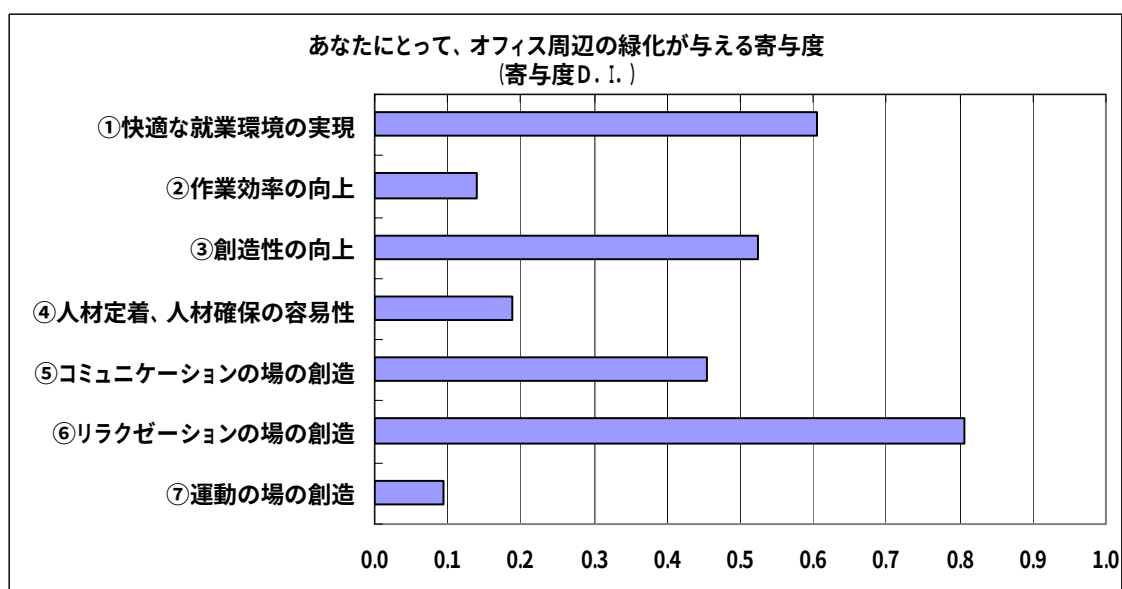
$\begin{aligned} \text{寄与度 DI} &= (\text{「寄与する」と回答した比率} \times 1 + \text{「やや寄与する」と回答した比率} \times 0.5) \\ &\quad - (\text{「あまり寄与しない」と回答した比率} \times 0.5 + \text{「寄与しない」と回答した比率} \times 1) \end{aligned}$

図1 オフィス周辺の緑化がオフィスビルや街区に与える影響



(出所) 住信基礎研究所「生物多様性に対するオフィスワーカーの意識調査」

図2 オフィス周辺の緑化がオフィスワーカーに与える影響



(出所) 住信基礎研究所「生物多様性に対するオフィスワーカーの意識調査」

図1から、オフィス周辺の緑化は「優れた景観の実現」に最も寄与していることが見て取れます。景観に優れ、ランドマーク性が高いオフィスビルや街区を形成するために、緑化は重要な役割を担っていることがうかがえます。一方で、「ヒートアイランド現象の抑制」や「エネルギーコストの削減」にも大きく寄与していると考えられます。

また、図2からオフィス周辺の緑化は、オフィスワーカーに対して「リラクゼーションの場の創造」や「快適な就業環境の実現」をもたらし、「創造性の向上」に寄与すると考えているようです。

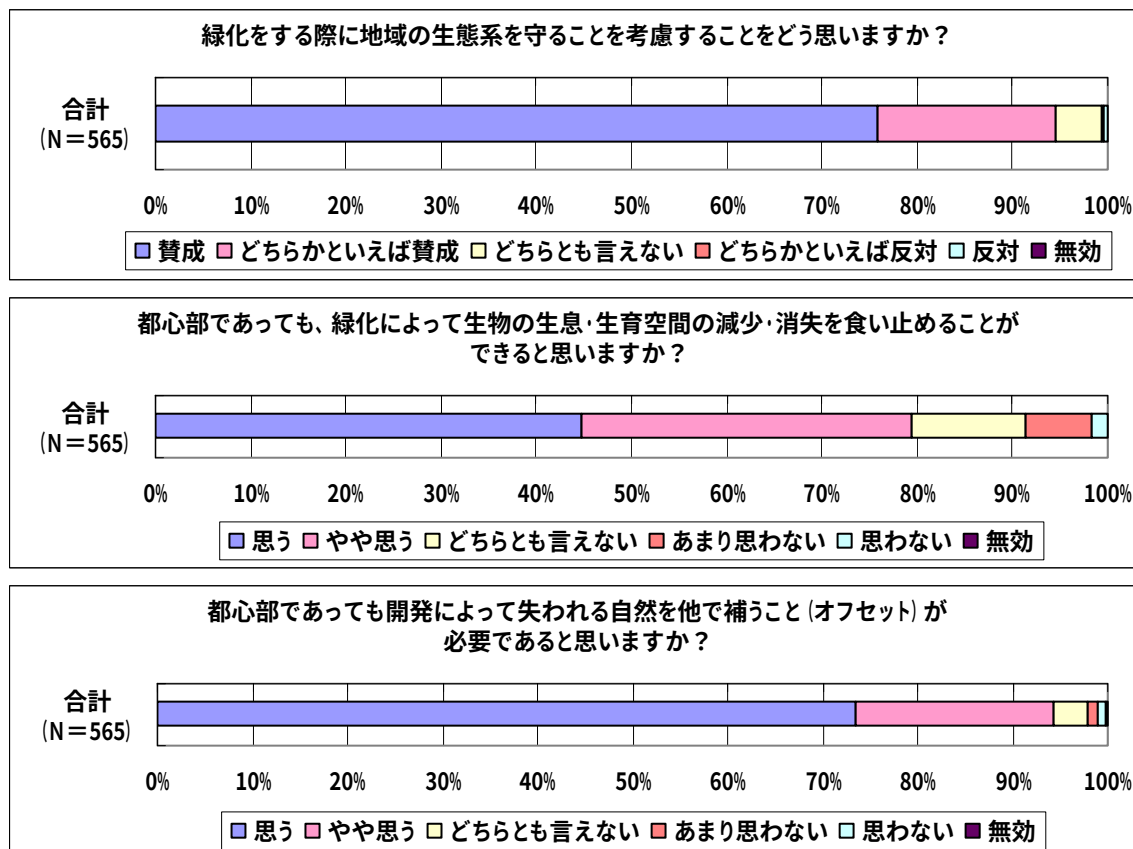
なお「あなたにとって、オフィス周辺の緑化が与える寄与度」について、「寄与する」または「やや寄与する」と回答した人の割合は、「リラクゼーションの場の創造」が約96%、「快適な就業環境の実現」が約87%、「創造性の向上」が約84%、「コミュニケーションの場の創造」が約82%、「人材定着・人材確保の容易性」が約63%、「作業効率の向上」が約58%、「運動の場の創造」が約54%と

なっています。

4.緑化する際に生物多様性に配慮することの必要性

3 では、オフィス周辺の緑化が、オフィスワーカーや街区にとってプラスの効果をもたらしていることが示されました。次に、オフィスワーカーは、オフィス周辺の緑化がどのような緑化であるべきと考えているかについて質問しました。

図3 オフィス周辺の緑化がオフィスワーカーに与える影響



(出所) 住信基礎研究所「生物多様性に対するオフィスワーカーの意識調査」

図3 からみてとれるように、「地域の生態系を守ること」に賛成と回答したオフィスワーカーは実に76%にも上りました。一方で、都心部の緑化によって生態系の保全が図れると「思う」と回答したオフィスワーカーは45%でした。このことから、都心部の緑化だけでは、生態系の保全に対する効果が限定的と考えているオフィスワーカーが少なくないことがうかがえます。それに対応するために、オフィスワーカーは開発により失われた自然を補う「オフセット」という考え方が実行される必要性があると考えていることが見て取れます。

5.作業効率や創造性に影響を与えるオフィスの要素

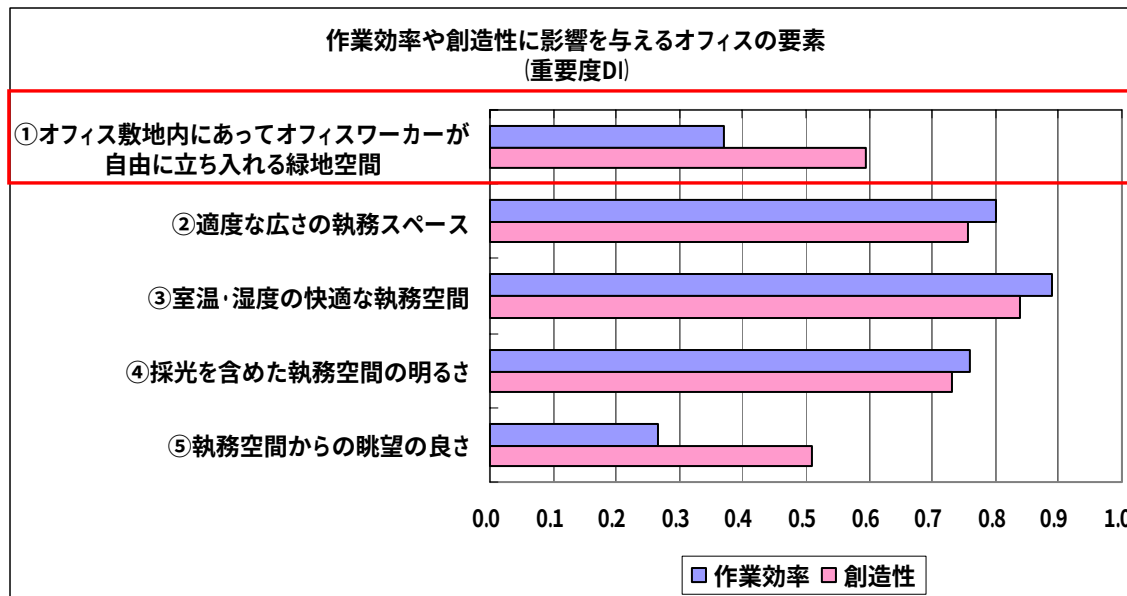
オフィス周辺の緑化が、他のオフィス構成要素と比較して作業効率と創造性を図る上でどれくらい重要視されているかについて質問しました。オフィスの構成要素は、「①オフィス敷地内にあってオフィスワーカーが自由に立ち入れる緑地空間」、「②適度な広さの執務スペース」、「③室温・湿度の快適な執務空間」、「④採光を含めた執務空間の明るさ」、「⑤執務空間からの眺望の良さ」の5項目としました。

「作業効率や創造性に影響を与えるオフィス要素の重要度」の結果として、重要度DIを算出し

ました。重要度 DI とは、以下の式により算出される数値のことを言います。

$$\text{重要度 DI} = (\text{「重要」と回答した比率} \times 1 + \text{「やや重要」と回答した比率} \times 0.5) \\ - (\text{「あまり重要ではない」と回答した比率} \times 0.5 + \text{「重要ではない」と回答した比率} \times 1)$$

図 4 作業効率や創造性に影響を与えるオフィスの要素



(出所) 住信基礎研究所「生物多様性に対するオフィスワーカーの意識調査」

全ての項目の重要度 DI がプラスとなり、作業効率と創造性に対して全ての項目が重要であることが分かりました。その中でも、「②適度な広さの執務スペース」、「③室温・湿度の快適な執務空間」、「④採光を含めた執務空間の明るさ」といった室内環境の要素において、作業効率と創造性の重要度 DI が高い結果となりました。「①オフィス敷地内にあってオフィスワーカーが自由に立ち入れる緑地空間」も、作業効率や創造性という観点では重要であると認識はされているものの、室内環境の要素に比べるとその重要度は低い結果となっています。また、「①オフィス敷地内にあってオフィスワーカーが自由に立ち入れる緑地空間」や「⑤執務空間からの眺望の良さ」は、作業効率よりも創造性に良い影響を与えています。

6.まとめ

以上のように、「オフィス周辺の緑地」はオフィスワーカーにプラスの効用をもたらしており、特に創造性の向上には大きく寄与しています。ただオフィス周辺に緑地を設ければ良いのではなく、生態系の保全を図ることが重要であると認識されてきています。

また、都心部の開発によって失われた自然は、開発敷地内に緑地を設けるだけでは補いきれません。オフィスワーカーはそういった場合にオフセットを行うことの重要性を認識しており、生物多様性への取組みに理解を示す傾向にあります。こういったオフィスワーカーの環境への意識の高まりは、今後、就業地や企業の選択に影響を与えていく可能性があります。

以上